

家庭でできる温暖化対策 緑のカーテンから エコの種まき



昨年7月に撮影した紫藤区長宅のゴーヤカーテン。土のう袋を利用して植えてあります。葉が青々と茂り、涼しい風を運んでいました。

合言葉は「古くて最先端」



しとうえいじ 紫藤 英二さん（南方区長）
かずよ 和代さん

平成18年からゴーヤカーテンを始めました。昔から西日よけに簾を置くことはありましたが、それを緑のカーテンにするだけで、涼しさと「癒し」をもたらしてくれます。カーテンの裏から見る木漏れ日はなんともいえません。「古くて最先端」が私たちの合言葉です。

まだ夢の段階ですが、いつかは農家でできた野菜などを、たくさんの方が生活する光の森や武蔵ヶ丘方面に届け、菊陽町で地産地消をできればいいなと思っています。

そして、その夢は少しずつつかないようになっていきます。昨年は光の森に住む若いご夫婦がゴーヤカーテンに挑戦したいという思いを聞き、カーテン作りのお手伝いに行きました。若い人が挑戦したいと思ってくれるのはうれしいですね。

地球温暖化防止、二酸化炭素削減などと考えると、義務感にかられ、疲れてしまいます。でも、「ゴーヤカーテンができたら一杯飲もう」くらいの遊び心で始めてみませんか。「楽しみながら育てていたら実は環境にも家計にも良いことだった」と、ゴーヤを育てている中で、いつの間にかいろいろなエコができていくのです。

ゴーヤカーテンは難しくありません。皆さん今年は挑戦してみませんか。

緑のカーテンをご存じですか。昨年、町の公共施設には、青々とした葉と鮮やかな色の花でできた緑のカーテンが窓の外を覆いました。南方地区から始まったこの取り組みは、町中で見られるようになりました。地球温暖化が進んでいる中で、私たちは未来の子どもたちに、この環境を、この地球を残してあげることができるとして、この地球を大切にしようか。そのためにはまず、私たちができることから始めてみませんか。一つ一つの積み重ねが、未来を変える力になるはずですよ。

地球温暖化の影響

地球温暖化とは、二酸化炭素などの温室効果ガスの影響により、地球全体の気温や海水温が、気候や緯度に関係なく上昇することです。この状態がますます進行すると、大雨の増加や干ばつなどの異常気象や、海面上昇による土地の水没など、さまざまな被害をもたらします。その影響は、私たちの身近なところでも感じられるようになりました。例えば、桜の開花時期が早まったり、熱帯夜が増加したりしているなどは、地球温暖化の影響だろうといわれています。

環境・人にやさしい緑のカーテン

緑のカーテンは、朝顔やゴーヤなどのつるをはわせ、窓や壁の日よけにする自然のカーテンです。



①立派なゴーヤの実がたくさんできました。種でプローチを作ることでもできます。
②武蔵ヶ丘第二保育園のゴーヤカーテン。大きく育ち、自然の風が吹き抜けました。

緑のカーテンは「おまけ」付き

緑のカーテンはたくさんのおまけが付いてきます。私たちはカーテンを育てていく中で、涼しさや家計の節約になっていくことを実感すると、「次は何をしたら減るだろう」と考えるようになります。例えば、冷房の使用を控えたり、水やりに水道水を使わなかったりと試していくうちに、新たなエコが生まれてくるのです。「おまけ」が地球環境にとって、やさしい取り組みになります。

そのようなうれしい「おまけ付き」の緑のカーテンで、今年は暑い夏を快適に過ごしてみませんか。苗は、4月から5月半ば頃に植えると、一番暑い時期に窓を覆い尽くすようなカーテンに成長します。

今からでも時間は十分ありますので、いろいろな資料を見ながら、もっと緑のカーテンの良さを知ってみてください。

みんなできる。1人1人の力が

「塵も積もれば山となる」というように、環境に対する一人ひとりの日頃の心がけが、地球温暖化を防止するための大きな力になります。

「環境」と一言で表すと、スケールが大きく感じられ、「自分一人が行動しても何も変わらないのではないか」と思われるかもしれません。しかし、身近なところから考えてみてください。ご家庭でも、お風呂の残り湯を使って洗濯をしたり、マイバッグを持って買い物に行ったりしていませんか。それらがまさにエコの種まきです。私たちの行動が積み積もって、やがては大きく成長し、環境を変える源になるはずですよ。

今の地球環境を元通りにすることは簡単ではありません。だからこそ、私たちが誰でもできる小さな心がけを大事にすることが未来を生きる子どもたちに、この町を、この地球を残すことにつながります。

私たちにできることから少しずつ始めていきましょう。